

平成23年度  
実施事業

事務事業名 し尿処理業務（し尿処理・収集量）

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	3	生活排水の適正な処理
小分類	3	し尿の適正処理
主要な施策	1	し尿処理施設の整備
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策G
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	し尿を適正に収集、処理することにより、市民の生活環境を清潔にするとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	し尿収集運搬業務を民間事業者への委託により実施する。 平成23年4月1日から本格始動したし尿投入施設の維持管理に要する経費を公共下水道事業特別会計に負担金として支出する。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	本年度も委託により、適正なし尿収集体制を継続していくとともに、し尿処理施設の効率的な維持管理を推進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	41,645	36,942	36,652	33,894	31,279
一般財源	名称	千円	44,805	44,931	54,873	57,631	60,246
事業費 合計			86,450	81,873	91,525	91,525	91,525

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	し尿収集量（登別市生活廃水処理基本計画による見込量）	キ ロ ト ル	目標値	5,280	6,715	6,255	5,763	5,297
			実績値	7,173	6,346			
				目標値				
				実績値				

現況 《Check》

現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》
<p>登別市生活排水処理基本計画                      平成18年し尿処理見込量：10,720k                      平成19年し尿処理見込量：9,150k                      平成20年し尿処理見込量：7,620k                      平成21年し尿処理見込量：6,260k                      平成22年し尿処理見込量：5,280k</p> <p>平成18年し尿処理量実績：10,803k                      平成19年し尿処理量実績：9,613k                      平成20年し尿処理量実績：9,013k                      平成21年し尿処理量実績：8,097k                      平成22年し尿処理量実績：7,173k</p>	<p>平成23年度し尿処理見込量：6,715k                      平成23年度し尿処理量実績：6,346k</p> <p>(計画の見直しにより、平成22年度以前と平成23年度以降で、見込量に差が生じている。)</p> <p>登別市生活排水処理基本計画に基づくし尿処理見込量に対して平成23年度は実績の量が下回っている。効率のいいし尿収集を模索することにより、し尿処理量の増加を目指すとともに、計画の見直しを進めていく。</p>

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなるという限り、必要なため。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなるという限り、必要なため。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなるという限り、必要なため。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなるという限り、必要ではあるが、具体的な成果として把握することは困難である。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	下水道の普及により汲取り世帯の減少が見込まれ、それに伴い委託料の縮減が図られるが、全世帯が水洗化しないかぎり、本事業を継続する必要がある。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--